

商店街の応援団づくり ～みんなの銭湯再生プロジェクト～

商店街内にある廃業した銭湯を、今後 5 年以内に新たな「まちのコミュニティ拠点」としての再生を目指すプロジェクト。商店街の若手が中心となり、一緒に活動してくれる地域住民（応援団）を集めながら、協働で銭湯再生に向けた取組みを始めた。



かつては多くの商店が軒を連ね、市民が買い物を楽しむ場所として栄えた江津万葉の里商店会も、長年の人口流出や、消費行動の多様化により、訪れる人の数が減少していった。そして、かつては商店街の中で、市民の交流の場でもあった銭湯から火が消えてから十数年が経とうとしていた。

「銭湯を再生して、まちのコミュニティ拠点にしたい」～ある若者の想い

平成 25 年、この廃業した銭湯の内装を卒業実習の一環として改修した地元の専門学校生の中から、「銭湯を再生させて、人と人がつながる温かい場所をつくりたい」と立ち上がる若者が現れた。きっかけをもらった商店街

は、「銭湯の再生＝コミュニティの再生」を目指し、『&湯 with 湯 Go To 湯～みんなの銭湯再生プロジェクト～』をスタートさせた。

再生前の銭湯の活用

～一緒に活動してくれる「応援団」を集める

現実的に銭湯を再生するとすると、資金確保や再生後の運営等、様々な難題が存在していることに気づく。商店街だけで銭湯再生を成し遂げるのは非常に困難である。そこで、今後 5 年以内の銭湯再生を目指し、地域住民の中から商店街と一緒に活動してくれる仲間（＝「応援団」）を集めていくことにした。

まずは銭湯を活かしたユニークなイベントを行い、参加者を集め、その中からプロジェクトに共感してくれた人たちを巻き込み、応援団を増やしていった。また、応援団になってくれた人たちが、自ら企画を持ち込み、活動する場として銭湯やその他商店街の場所を提供することにより、再生後に目指す「まちのコミュニティ拠点」の基礎づくりにも着手していった。

今後は、既に着手しているクラウドファンディングの活用や、オリジナルグッズの販売等で資金を集め、5 年以内の銭湯再生を目指していく。

実施と検証から得られたポイント

- コミュニティの再生に取り組むプロジェクト！
- 商店街と地域の若者が中心となったプロジェクト！
- 商店街と一緒に銭湯再生に取り組んでくれる応援団を集める！

① プロジェクトへの共感を得るために、銭湯（空き物件）を活用したイベントを実施する

応援団になってもらうためには、まずはプロジェクトに共感を持ってもらうことが重要。

● イベントの企画

⇒ 銭湯の歴史や元々の用途に着目してもらい、魅力を発見（再発見）できる企画にする。

例) ドラム缶風呂体験

石鹸づくりワークショップ

手ぬぐいづくりワークショップ

⇒ 子供から大人まで、様々な世代の人が参加、交流できる企画にする。

例) モザイクタイルを使ったコースターづくり

薪割り体験

⇒ 商店街の良さも知ってもらう企画にする。

例) 銭湯居酒屋

各店の協力により商品やサービスを活かしたイベントにすることで、商店街内でプロジェクトへの理解を深める効果もある。

② 定期的な「オープンミーティング」で、お客様から応援団へ

イベントでプロジェクトに共感してくれた参加者も、まだ「お客様」というスタンスの方が多いはずなので、更に一步「応援団」に近づいてもらうために、誰でも発

言出来る場を定期的に設ける。そこでプロジェクトチームのメンバー等とコミュニケーションを取りながら、プロジェクトについて話すことで、参加意識を育てる。

● オープンミーティングの企画

⇒ 飲食しながら話す座談会形式で行う、またネーミングを工夫するなどして、ある程度の「ゆるさ」を持たせた場にするによって、初めて参加する際のハードルを下げる。

● 開催場所の選定

⇒ 廃業状態の銭湯を会場として使用することで、銭湯に対する参加者の興味を更に深めることに期待出来る。

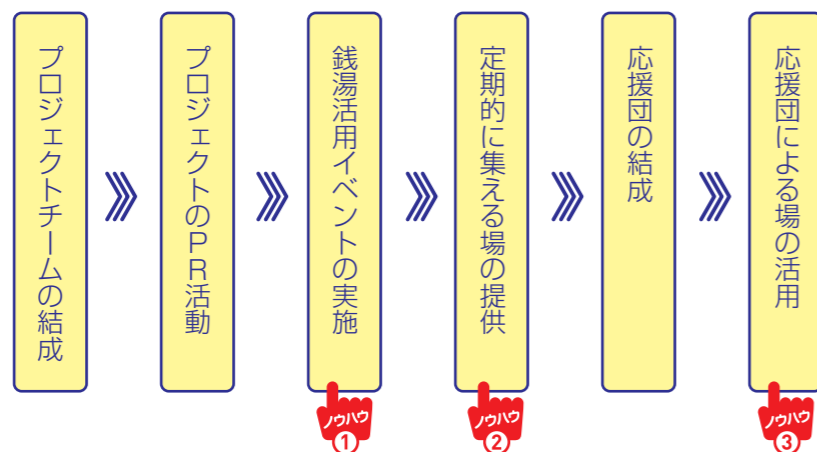
③ 新たなコミュニティ拠点づくりに向けて、応援団に活動の場を提供する

銭湯やその他の場所で、応援団がイベント等を行うことによって、商店街の各個店は自分の商売に専念しながら、商店街にはまちの人が集まるという状況をつくる事が出来る。

● 応援団の人たちのスキルやネットワークを活かす

⇒ 「オープンミーティング」で得られた参加者が持つスキルやネットワークを活かした活動に、銭湯や商店街内の場所を提供する。

みんなの銭湯再生プロジェクト



僕たちは銭湯が本来持っている「人と人をつなぐ温かい場」という機能に着目して、商店街と一緒に活動する仲間をつくってきました。今、商店街に眠っている資源を探し、掘り下げる作業を行ってみたい！たくさんの活用可能性が見えてくるはずです！
(江津万葉の里商店会 田中 健一郎氏)

【参考】このプロジェクトに取り組んだ商店街 江津万葉の里商店会

(島根県江津市：人口 25,697 人)

店舗数：72 (加盟店舗 40)

空き店舗数：22

商圏：近隣型

商品：最寄品、その他

来街者数：(平日) 170 人、(休日) 100 人

支援機関：合同会社 創